



平成 27 年 5 月 1 日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社
代表者 代表取締役社長 寺家 正昭
(コード番号 2209 東証第二部)
問合せ先 常務取締役部門統括 大西 安樹
(TEL 059-234-2146)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 37,300	百万円 960	百万円 1,020	百万円 440	円 銭 18.07
今回修正予想 (B)	36,346	446	700	381	15.69
増減額 (B-A)	△953	△513	△319	△58	
増減率 (%)	△2.6	△53.5	△31.3	△13.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	36,270	769	916	335	13.77

修正の理由

平成 27 年 3 月期の業績につきましては、売上面では冷菓商品において上期の主力である「あずきバー」シリーズの売上が夏場の天候不順の影響もあり減少しましたが、今期は通年販売を行っている「やわもちアイス」シリーズや秋口から発売した新商品の売上が伸長し、米国でアイスを中心に事業を展開している IMURAYA USA, INC.においても売上が増加しました。また、菓子、食品、デリーチルドでも重点商品が伸長するとともに、下期では発売 50 周年を迎えた「肉まん・あんまん類」が新商品「ゴールドまん」シリーズの発売効果もあって売上が増加し、売上高は前期を上回る見込みとなりました。利益面では、継続的な製造コスト削減に取り組みましたが、「あずきバー」シリーズの売上減に伴う差益減少と原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇の影響により、営業利益および経常利益は前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益 (税引き後) につきましては「創エネ」によるボイラー設備への補助金を特別利益に計上した事により前期を上回る見込みとなりました。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により該当予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上